男女混合でモアレ検査。男子に晒される女子たちのおしり

時間が押しているという理由で、2年B組の生徒全員が男女混合でモアレ検査を受けることになった。いつもは男女別々のはずの検査が、今日は一つの部屋で一気に進められる。先生の苛立った声が響き、生徒たちは渋々従うしかなかった。出席番号順に並び、床に体育座りで待機する中、女子たちは膝を抱えて体を小さく縮こまらせ、男子たちはこれから目の前で女子の裸が次々と晒される期待に、股間がじわじわと熱くなり始めていた。

出席番号1番の浅田さんが呼ばれ、医師に正面を一つまり僕たちにおしりを向ける。「スカートとパンツを一緒に膝まで下ろしなさい。もっと下げて、骨盤がちゃんと見えないと意味がない」浅田さんは顔を真っ赤に染め、震える手でウエストに指をかけ、ゆっくりとスカートをずり下げた。続いて白いパンツが膝まで落ち、柔らかく丸みを帯びたお尻が完全に露出した。座っている男子たちは目の前数メートルの距離でその光景を凝視し、息を飲んだ。教室でいつも笑顔の浅田さんの、誰も見たことのない秘部が無防備に晒され、前屈みになるたびお尻の間の割れ目の奥まで見える。